

【小学校】第4学年・国語科「自分だけの詩集をつくろう」

ねらい：連想を広げ、表現を工夫して詩を作ることができる。

活用のポイント

- ・観点別に言葉を色分けすることにより、話し合いを焦点化することができる。
- ・付箋機能、思考ツールを用いて、自分の考えを広げることができる。
- ・速さを調節できる読み上げ機能、反転機能、ルビを活用し、個別の支援に生かすことができる。
- ・学習支援ソフトとデジタル教科書を一体的に活用することで、考えを共有し対話的な学びにつなげることができる。

機能：教材文切り取り、読み上げ、付箋、書き込み、思考ツール、反転、行間、ルビ、学習支援ソフト



ねらい・期待される効果等

■学習活動例（太字がデジタル教科書の主な活用場面）

	活動内容	学習者用デジタル教科書の活用例
導 入	<p>一斉 課題の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を確認する。 	<p>課題 連想を広げ、表現を工夫した詩を作ろう。</p>
	<p>一斉 考えの共有</p> <p>個別 個人追究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩を読み、感想を話し合う。 ・自分の気に入った言葉と表現を色分けして線を引く。 ・選んだ理由を付箋に書き込む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型モニターに詩を提示し、音声読み上げ機能で聞く。 行間、音声の速さを調整できる。（教師） ・教科書の詩を「マイ黒板」に抜き出す。 ・気に入った言葉と表現を色分けする。 教材文を発表しやすいように作り替えることができる。（児童） ・付箋機能を用いて、選んだ理由を書く。 観点ごとに言葉を色分けすることで、焦点化して話し合うことができる。付箋機能を用いて考えを書き表すことができる。（児童）
展 開	<p>全体 考えの共有</p> <p>個別 個人追究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩のよさについて話し合う。 ・各自の「マイ黒板」の画像を、学習支援ソフトに提出する。 ・思考ツールを用いて、連想を広げる。 ・連想した言葉を組み合わせたり、順序を変えたりしながら詩を書く。 ・音読の工夫を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「マイ黒板」に自分の詩を書く。 ・書いた詩に音読マークを付ける。 音読マーク機能を活用することにより、視覚的に読み方を考えることができる。（児童）
	<p>ペア グループ 考えの共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書いた詩を学習支援ソフトに提出し、詩を紹介する。 ・表現のよさを伝え合う。 	
ま と め	<p>個別 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを学習支援ソフトに提出する。 	